



地域が守る！ 安心して暮らせる安全なまち

田原市では、市内すべての地区に自主防災会が組織され、それぞれの地域特性に合った防災活動に取り組んでいます。ここでは、平成28年度の「自主防災活動重点支援地区」として、童浦校区コミュニティ協議会と衣笠校区コミュニティ協議会が取り組んだ活動をご紹介します。▼防災対策課 ☎23-3548

童浦校区コミュニティ協議会

吉胡区
白谷区

【人口・世帯】：平成29年3月末現在
618人・191世帯(両地区計)

概要

渥美半島北東部に位置しており、周囲を臨海工業地帯と三河湾、汐川河口、汐川干潟に囲まれています。もともと農漁業を中心とした地域でしたが、臨海工業地帯の発展を契機として、住宅開発や区画整理が進められています。

地区としては、平成28年度に活動を実施した吉胡区・白谷区を含む全11地区で構成されています。

取り組みテーマ

「地域目線で防災」

◆主な取り組み内容

- ① HUG(避難所運営ゲーム)、防災講習会の実施
- ② 防災マップの整備
- ③ 防災世帯台帳の更新
- ④ 防災倉庫の整備・点検 など

◆取り組み成果

ここ数年、両地区とも十分な更新

ができていなかった防災世帯台帳の更新を行うことができました。

また、防災マップに関しては、吉胡区では約6年ぶりの更新を、白谷区では初めての整備を行うことができました。

防災マップの全戸配布や

防災倉庫の整備を行っ

たことなど、地域の方のための活動ができました。

◆今後の目標

防災世帯台帳は、今回の取り組みを契機に今後も継続して更新を行う予定です。防災訓練の参加者は増えましたが、家族連れの参加が少ない状況です。このため、住民の皆さんへの周知方法を工夫して、より多くの方が参加してくれるように努めていきます。



●役員による防災講話の様子

衣笠校区コミュニティ協議会

加治区

【人口・世帯】：平成29年3月末現在
1576人・599世帯

概要

市の北東部に位置しており、加治、衣笠、八軒家、藤七原、鎌田、東滝頭、赤石の7地区で構成されています。

加治区は、日ごろからさまざまな地域活動を通じて、住民同士のつながりを大切に行っている地域です。自主防災活動においても、訓練時にはその組の住民に対する防災学習や、安否確認のための世帯個別訪問をするなど、年間を通じて活発な取り組みを行っています。

取り組みテーマ

「日ごろの地域コミュニティ活動の継続が、防災に生きる」

◆主な取り組み内容

- ① 訓練を通じた自主防災組織での災害対応の検証
- ② 豊田市防災学習センターの見学
- ③ 防災世帯台帳の更新
- ④ 防災学習会の実施 など

◆取り組み成果

実際に訓練を行い検証した結果、災害対応時に重要な役割を担う防災リーダーの所在が分かりにくいことが判明しました。このため、防災リーダーに多機能型防災ベストを配備したことで、所在が容易に分かり、円滑な情報収集や指示伝達が可能となりました。

◆今後の目標

加治区の防災に対する基本的な考え方は、「自助と共助」です。今後も、地域で協力し合うコミュニティ活動を軸に、まずは自分・家族を守り、次に身近な組の組織や住民みんなで助け合うことのできる防災活動を継続します。そして、これからも工夫を加えた防災活動に取り組んでいきます。



●地区防災訓練の様子